

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		10,532	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		10,532	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
温室効果ガス総排出量	10,236	t-CO ₂	9,929	t-CO ₂	10,532	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 2.9	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度			
原単位当たりの排出量	2003	t-CO ₂ / 千時間	1943	t-CO ₂ / 千時間	2061	t-CO ₂ / 千時間		t-CO ₂ / 千時間		t-CO ₂ / 千時間
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 2.9	%		%		%
原単位当たりのみなし排出量						t-CO ₂ / 千時間		t-CO ₂ / 千時間		t-CO ₂ / 千時間
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

夏場に、例年より気温が高い日が続き 空気調和設備の運転量がふえたこともあり、目標達成はならなかった。 取り組みとして、LED化工事や、省エネ機器の導入を進めております。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践 点検及び運転管理の適正化	空調熱源(ターボ冷凍機)の定期的な保守・整備により、高効率運転を行う。 また、中間期・冬季は外気冷房を活用し、熱源稼働時間の短縮に努める。	空調熱源の年間使用電力量を毎年1%ずつ削減する。	外気導入を全ての期間で実施しており、期間ごとにインバーター制御にて電力量削減を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践 設備運転の効率化	空調フィルター清掃・内部フィン洗浄を計画的に実施し、高効率運転を行う。 入店テナント様に対しフィルター清掃・フィン洗浄の案内を行い適正管理を促す。	共用部・核店舗の空調フィルターの清掃は年6回、内部フィン洗浄は2~3年周期で実施する。	フィルター清掃やフィン洗浄については計画通り実施出来ており、今後も継続予定です。
省エネルギー・省資源の行動の実践 照明	スポットライト・間接照明・装飾照明などについて、不要な照明を消灯(間引き)する。 また、必要箇所についてもタイマー設定を見直し点灯時間の削減に努める。	タイマー設定の見直し	照明器具のLED更新を実施。より高効率の機器導入を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践 照明	店内・外照明をLED器具を高効率な器具へ更新する。	共用部の全照明のLED更新	2024年度は、外灯のLED化をおこなった。2025年度は、バックヤード照明のLED化、感知式照明の変更予定。
省エネルギー・省資源の行動の実践 設備運転の効率化	食品令ケースの清掃を計画的に実施し、高効率運転を行う。	1回/年の清掃により汚損の防止を行う。	ハニカム清掃は1回/年で継続実施中。ロードラインオーバーに対し注意喚起実施。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

- ・夏期熱源の運転見直し
- ・館内照明のLED更新
- ・外灯のLED化
- ・カーテンウォール、壁面照明のスケジュール調整（点灯短縮）
- ・空調機フィン洗浄などの計画通りでの実施

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

照明・空調スケジュールの見直し